



やさしく げんきに しんけんに

令和6年度
学校教育目標

「ふるさとを誇りに思い、夢に向かって
みんなで伸びゆく 旭志っ子の育成」

理科って楽しいな！ 菊池市小中学校理科担当者研修会

1月28日に日本の理科教育の第一人者である角屋重樹広島大学名誉教授が来校され、菊池市小中学校で理科を指導する先生方が集まって研修会を行いました。市内の理科の先生を代表して本校の米村光太郎先生と3年生の子どもたちが「じしゃくのふしぎ」の研究授業を公開しました。またとない研修のチャンスでしたので、本校の先生たちも一緒に研修に参加しました。

角屋教授をはじめ参観された先生方から、磁石の力に関心をもち熱心に実験する姿や、実験結果を基に真剣に考える姿をたくさんほめていただきました。子どもたちが4月から磨いてきた「しんけんに」の力が、確実に伸びていることをとても嬉しく思います。



毎日の給食に感謝の気持ちを込めて

昭和21年12月24日に戦争で中断していた学校給食が東京などで再開されました。その日は冬休みに入ることが多いため、1月24日を「学校給食感謝の日」、30日までの1週間を「学校給食週間」と定めています。子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し健康面での様々な懸念点が多くみられる中、学校給食は子どもたちの食に関する正しい知識や望ましい食習慣を育むうえで重要な役割を果たしています。給食週間中はこのような意義や役割についての関心と理解を深めるために、旭志小でも様々な取組を行いました。

その一つである「給食週間特別献立」で、菊池市給食献立コンクールで優良賞に選ばれた旭志中の先輩が考案したメニューが出されました。地元食材を使った栄養満点の献立をみんなでおいしく食べながら、生産・流通・調理・配食など学校給食に関わる全ての方々へ、改めて感謝したいと感じました。



味彩牛の爆速トマト煮込み
旭志中1年 松永怜大さん



菊池の里芋を使った和風グラタン
旭志中1年 岡島斗真さん

新1年生の入学を楽しみに待っています

2月7日に新入生体験入学を行いました。当日は5年生と一緒に校内探検をしたり、1年生の教室と一緒に授業体験をしたりしました。新入生も在校生も最初は緊張している様子でしたが、だんだんと打ち解けて楽しく過ごしていました。新入生たちの笑顔も印象的でしたが、それを引き出してくれた5年生と1年生の成長した姿をととても頼もしく感じました。



また、新入生保護者同士のつながりを深め、安心して入学を迎えることができるよう鳥井真智子さんをお招きして「親の学びプログラム」も実施しました。児童・職員・PTA全員で入学を待っています！

生活のきまりを守った服装や登下校時の赤白帽子着用ができていない児童が増えています。また、名前の書いてない防寒着やセーター等の落とし物も増えています。きまりを守って生活する力や物を大切にできる力は、学校だけでなく社会でもとても大切な力です。進級・卒業に向けて、各ご家庭でも改めて子どもたちご指導いただくとともに、服装や持ち物・記名等の確認に、ご協力をお願いします。